

Ⅲ. レクチャーシリーズ

2018年10月、12月に、本センターの重要な事業のひとつである「レクチャーシリーズ」の収録を行った。これはさまざまな領域を専門となさっている研究者を講師に招き、高大接続に関する話題について講じて頂き、それを収録して本センターのWEBページで広く配信するもので、本年度は合計4本を制作した。

まず、外国の高大接続改革に関する2つのご講演を収録した。

フランスの高大接続は、世界に知られたバカロレア試験によって支えられている。しかしその実際は、その名前ほどは良く知られていない。また、このバカロレア試験の改革が既に始まっている。そこで立命館大学の細尾萌子先生に、このような内容でご講演を頂き、収録した。

また、韓国では、入学査定官制度を導入して大学入試を改革することで、高大接続改革を進めてきている。しかしその背景にある韓国の高校教育の現状や大学入試改革の基本的な考え方については、なかなか知ることができない。そこで、本研究科の松本麻人先生にご講演を頂き収録した。

次に、特色ある独自の入学者選抜を行っている大学の取り組みに関するご講演を2本収録した。追手門学院大学では、「アサーティブ入試」という独自の入学者選抜を行っている。そこでこの取り組みについて、同大学アサーティブ課の志村知美課長にご講義を頂き収録した。

最後に、「ダビンチ入試」という独自の入学者選抜を行っている京都工芸繊維大学の取り組みについて、同大学アドミッションセンターの山本以和子先生にご講演を頂き収録した。

なお、細尾先生、松本先生、山本先生のご講演は、本学高等教育研究センターの招聘セミナーとの共催によって企画・実施された。また志村氏のご講義は、講演ではなく、収録のために行われた。なお、これらのご講演、ご講義を収録した動画は本センターのWEBページの「レクチャーシリーズ」で、すでに配信されている。(http://chet.educa.nagoya-u.ac.jp/?page_id=97)

1. 「フランスの高大接続からのヒントー思考力・表現力と内申点の評価」 細尾 萌子
2. 「韓国の大学入試改革の現在ー私教育抑制政策と教育機会の格差ー」 松本 麻人
3. 「答えは目の前の学生からーアサーティブプログラム・アサーティブ入試ー」 志村 知美
4. 高大トランジションの達成を目指した入試・教育の設計と開発ー京工織のダビンチプログラムー」 山本 以和子